

豊田市森づくり基本計画見直しのポイント（補足資料）

1 間伐促進プロジェクト

(1) 計画対象森林の精査

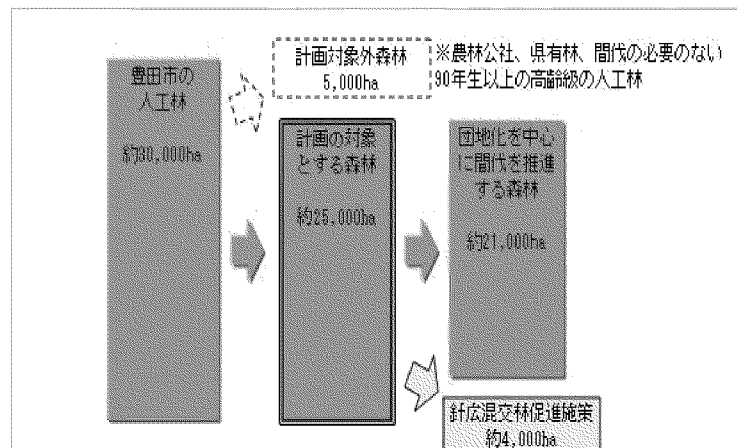
市内森林面積 約 63,000 h a
うちスギ・ヒノキ人工林 約 30,000 h a
第1次基本計画対象森林
うち
県有林 約 1,200 h a
公社林 約 1,800 h a
緑資源機構等 約 200 h a
90年生以上 約 1,800 h a
計 5,000 h a

これらについては、市の施策で対応しきれない。



25,000 h a を第2次基本計画対象森林とする。

25,000 h a のうち、いままでの団地化施策等を中心として間伐を推し進めるのは 21,000 h a とし、人工林の点在や奥地林など 4,000 h a については、下記の針広混交林促進施策を通して間伐を推進する。



間伐面積 市事業関連分（公社・県有林を除いた数値）

	H20	H21	H22	H23
計画値	1,261	1,480	1,700	1,940
実績値	1,163	1,346	1,182	1,015
達成率	92%	91%	70%	52%

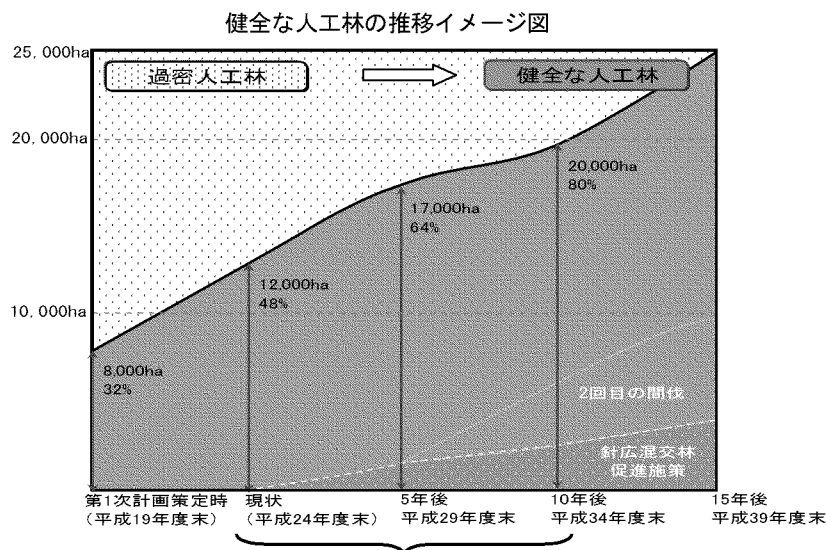
(2) 針広混交林促進施策

針広混交林化を加速化させるための促進策を新たに検討、実施する。

〔検討案〕

現在は、4割間伐を強度間伐として、所有者負担なしの間伐を進めている。

検討案として、超強度間伐（5割以上間伐）かつ再造林禁止というような、針広混交林に資する森林としての協定等のうえ、奨励金等を支払う、などの施策を検討していく。



18,000ha の間伐と
針広混交林促進施策による間伐卒業林の加速